

フォント

フォントとは、文字の形やデザインを指す用語です。

具体的には、特定のスタイルやサイズ、ウェイト（太さ）を持った文字の集合体を指します。

フォントは印刷物やデジタルコンテンツにおいて、テキストの見た目や雰囲気を決定づける重要な要素です。

例えば、明朝体やゴシック体などのフォントがあり、それぞれ異なる印象を与えます。

また、フォントは大きさやスタイル（**太字**、**斜め字**など）を変更することで、強調したい部分を際立たせたり、全体のデザインを調和させたりすることができます。

フォントはデザインやブランディングにおいて非常に重要で、適切なフォントを選ぶことでメッセージや感情を効果的に伝えることができます。

フォントの種類

フォントには和文（日本語）と欧文（英語）があります。

さらに、和文は「明朝体」「ゴシック体」、欧文は「セリフ体」「サンセリフ体」に分けることが出来ます。それぞれの特徴を理解して、どのような場面で使用したらいいのかを学んでいきましょう。

【明朝体】

明朝体は、横に対して縦線が太く、

ウロコと呼ばれる三角のアクセントがあるフォントです。

10世紀の中国で盛んになった、

木版印刷で使われた書体から始まったといわれています。

主に、教科書や新聞に使われていて、長文に適しているフォントです。

日本語の組版にはぴったりです！

【ゴシック体】

ゴシック体は基本的にすべての線が同じ太さで表されるフォントです。

明朝体とは違いウロコはありません。

視認性が良いフォントなので、WEB・資料・ポスターなどの

視認性重視の媒体・強調したい箇所に適しています。

今もっとも使われているフォントはこのゴシック体です。

【セリフ体】

「セリフ」=「ひげ（和文でいうウロコ）」という意味なので、

ウロコがあるフォントになります。日本語でいう明朝体のようなフォントです。

高級感のあるイメージ、クラシカルなイメージのデザインにピッタリです！

【サンセリフ体】

サンセリフ体は日本語のゴシック体に相当していて、

横線と縦線の太さが均一になっていてウロコはありません。

「サン」=「～のない」という意味なので、

サンセリフ体は「セリフがないフォント」ということになります。

サンセリフ体は、シンプルなイメージ、親しみやすいカジュアルなデザインにしたい場合に使用するのがおすすめです。